

S S K P

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



いずみ

No.
188

2018年3月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一八年三月一日発行(S S K P 通巻六八二八号)



今日は何があった？(玉堤分場)

● 本年度の聖句

主は人の一歩一歩を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。
人は倒れても、打ち捨てられるのではない。
主がその手をとらえていてくださる。

(旧約聖書詩篇37編23-24節)



今の時代の「科学の危機」

理事長 佐分利 正彦



11月のある日の新聞に耳慣れない言葉が出ていました。「チバニアン」、日本語に訳すと「千葉時代」という地球史上の一つの時代を指す述語で、今から77万から12万6千年前の期間を指すそうです。地球の磁極の逆転が起こったとされるこの時代の標準的な地層が千葉県原市の養老川で見られるとのことで、『チバ』が学問の世界で承認されることとなります。

日本では、このような報道に対して、興味を持って新聞の一面で取り上げられることはあっても、事実そのものに対して異論が出ることはないようです。すなわち、科学的な事実を社会が受け入れないという事は無いと思われまます。

さて、11月は毎年ノーベル賞の授賞式が行われる季節でもあります。2018年のノーベル物理学賞は、「重力波」の探知に成功したアメリカの学者3人に贈られました。外国の通信社が伝えた受賞者のコメントが注目されます。いわく『この受賞が注目されることによって、政治的主張を重視して科学的総意を軽視するアメリカの傾向が反転していくことを望みます。』

トランプ大統領の姿勢にも現れているように、アメリカには気候変動の原因が人間の活動には関係ないと考える人たちがかなりの割合で存在します。つまり、科学的知見を拒絶するアメリカ国民が増えている。以前から、アメリカにはキリスト教原理主義とよばれる保守的な信徒がいて、「進化論」を認めないということを知ることがありました。話が『進化論』に限られていけば、社会的な実害はないかもしれませんが、例えばワクチンの有効性に対する懐疑に話が及ぶと、ワクチンを接種しないことによる被害が本人ばかりでなく周囲の不特定の人々に及ぶこととなります。学者のコメントからは、アメリカの状況が憂慮すべき段階にあることを感じさせました。

人財育成の取組み

働き方改革

一億総活躍社会を目指して行われている「働き方改革」は、人口の減少と少子高齢化・長時間労働問題・短時間での生産性向上や時代のニーズにより様々な働き方が求められていることが背景にあります。高齢者が増え、定年になる人たちが増えても、その仕事を引き継ぐ人が不足しています。その結果、労働者も減り、日本の経済が回らないうえ、年金・健康保険などの社会保障を支える国庫財政が破綻に陥る恐れがあります。

そのため、少しでも労働者を確保し、働きやすい世の中に変えていかなければなりません。改革のメリットは、雇用形態の選択肢を増やし人財の確保に繋げ、労働者の働き方の選択肢が増えることや、メリハリを付けて生産性を向上させる、働きやすい環境づくりにより離職率を減らすなどがある

げられています。

人財確保と育成の仕組み

わが国では、少子高齢化による労働力不足や年金の受給開始年齢の引き上げなどにより高齢者雇用確保措置の実施が義務づけられました。

泉会では、将来、法人を支えていく世代を確保するため新卒採用者に焦点を当てた取り組みと、定年退職者の活躍の場を確保するため、高齢者雇用にはその経験を活かす若手の人財育成に携わっていただくなど、能力や体力に応じた雇用形態を選び定年後もいきいきと働ける職場環境を提供しています。



また、2017年度は、人事管理のベースを「役割におき」

役割等級制度をその主体として人事制度を構築しました。人事考課制度は、業務活動実績、経営管理実績（経営層のみ）、意欲態度を定められた基準により評価し配置活用、育成、賃金等への反映を行います。

（鈴木弘士）

運営会議の取組み

泉会が法人共通研修に取り組みを始めたのは、2008年の新人職員研修が最初です。その後、全職員参加の法人理念研修が加わり、しばらく年2回の実施でしたが、毎月開催している法人運営会議（課長が主メンバー）で2015年より研修分科会が発足し、そこで法人研修の仕組みや内容について検討を重ねてきました。

まず「法人職員研修実施要綱」を策定するために、目的や方針、研修体系等について話し合いました。特に支援・介護職に求められる職員像については何回も話

し合い、「感動する心、想像する心、思いやりのある心、喜びを味わう心で支援する。」としました。研修体系は、施設長、課長、課長補佐、一般職、事務職、看護職、栄養職とし、対象ごとに東京都福祉局、東社協などの外部研修と、法人独自の研修内容を組み合わせました。法人独自の研修は、モデルを参照しながら、各対象に必要とされる項目を上げ、話し合っています。



具体的な研修内容は、毎年運営会議で話し合い、年間計画にしています。新人研修では、その年の新人職員が一堂に会して研修し、

（別表5）研修体系図（案）

	対象	内・外	必・選	No.	研修名	備考
組織性科目	施設長	職場内	必修		評価者研修・虐待防止研修	
			選択			
		職場外	必修		社会福祉施設実務研修・経営中級課程 - (5年以上)	東京都社会福祉協議会
			選択		リスクマネジメント研修	
	施設長(1~2年目)	職場内	必修		新任施設長研修 評価者研修・虐待防止研修	
			選択		財務会計研修	
		職場外	必修		社会福祉施設基礎研修・経営初級課程 - 管理職研修	東京都社会福祉協議会
			選択		OJT推進研修 メンタルヘルス研修 労働基準法研修	
	課長	職場内	必修		評価者研修・虐待防止研修	
			選択		財務会計研修	
		職場外	必修		管理職研修 サービス管理責任者・相談支援従事者 防火管理者	東京都社会福祉協議会 東京都・他消防署
			選択		中核人材養成研修 OJT推進 リスクマネジメント研修 労働基準法研修 スーパービジョン中級	
	課長補佐	職場内	必修		法人理念研修・虐待防止研修	法人
			選択		財務会計研修	
		職場外	必修		チームリーダー研修 中堅職員研修 (3~5年)	旧指導的研修・中堅研修修了者
			選択		スーパービジョン研修初級	
	一般職	職場内	必修		新任職員研修・法人理念研修 虐待防止研修	法人施設
			選択			
職場外		必修		新任者研修 (新卒コース・既卒コース)	東京都社会福祉協議会	
		選択				
専門性科目	共通	職場内	必修		法人理念研修・虐待防止研修	
			選択		メンタルヘルス	
		職場外	必修		人権研修・普通救急救命講習	
			選択		支援援助等、技術に関する研修	
	事務職	職場内	必修		法人理念研修・虐待防止研修	
			選択		メンタルヘルス	
		職場外	必修		会計研修 労働基準法研修	
			選択		苦情受付担当者	
	看護職	職場内	必修		法人理念研修・虐待防止研修	
			選択		リスクマネジメント研修	
		職場外	必修		医療的ケア研修	
			選択		医学的な障害の理解と対応	
栄養職	職場内	必修		法人理念研修・虐待防止研修		
		選択		リスクマネジメント研修		
	職場外	必修		所轄保健所開催講習会		
		選択		食育について		
OJT	共通	職場内	必修		考課者研修	
	課長	職場内	必修		OJT担当者としての指導	
	一般職	職場内	必修		OJT担当者からの指導	
SDS	共通	職場内	選択		指定研修職務免除	

「同期」という意識が持てるようにしています。理念研修では「障がい者虐待」の問題について、自分の事として考えられるようにグループワークを行い、ロールプレイを用いて、体感できるようにしています。

2016年度から、法人理念研

修・新人研修に加えて、新たに交換研修（課長補佐）、管理職研修を実施しました。交換研修では、日の出地域の職員と世田谷地域の職員の課長補佐が2泊3日で、始業から終業まで通常業務に入りました。業務の違い、利用者の違いなどを実際に経験し、現場のチ

ームリーダーとしての経験値を増やしてほしいというのが狙いです。

管理職研修では、「会計研修」「労務管理」を実施しました。いずれも経営に必要な視点を持つことの重要性を意識できるようにしました。

（上原絹代）

今後も、研修分科会では、現在実施している研修をさらにブラッシュアップすること、新たな研修も企画実施していくことを話し合っています。法人研修がさらに充実していく事を目標にしていま

文化活動の取り組み

日の出舎

障害者自立支援法(現総合支援法)において、「生活介護」は「常に介護を必要とする人に、日中、食事や入浴、排泄の介護などをおこなうとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供します。」と定義され、日の出舎は、それまでの「授産施設」の作業から「生活介護」の創作的活動を中心に行うことになりました。利用者の方の戸惑いもあったかと思いますが、今は絵画、陶芸等、利用者に合わせたあらゆる活動を行っています。

私は、6年程前から日の出舎に勤務していますが、それよりずっと前からアートフェスティバルと題して毎年日の出舎の利用者が共同で作品を制作しており、その作品は埼玉こども動物自然公園や国営武蔵丘陵森林公園にて、10月、12月頃までの長期にわたって展示をしています。ご指導いただいているのが奥西先生ですが、日の出舎とは既に13年ほど



「風の樹」(森林公園)

のお付き合ひがあります。今でも毎年出品をつづけており、毎年どんな作品を作ろうか四苦八苦しなながらも、みなさん楽しく制作しております。昨年は、こども動物自然公園と森林公園の2会場に出品し、森林公園では「風の樹」と題し、風で動くオブジェを展示しました。夜にはライトアップされ、たくさんのイルミネーションと共に会場を盛り上げてくれました。



「明日の神話」

また、日の出舎独自の作品展も地元を中心にご数年毎年開催しています。年々大型の作品を展示する傾向にあります。一昨年は岡本太郎美術館の関係者の方も足を運んでいただいて、その美術館で展示させていただく機会を得ることが出来ました。他にも、地元の町民文化祭や他施設の作品展などあらゆる場所に展示させていただいています。

岡本福祉作業ホーム

「今年は来場された方々にも参加していただける作品展にしたい!」 そのような思いから2018年の作品展は「おかもとフィッシング」と題して魚釣りをコンセプトに共同制作を始めました。



力を合わせて製作中!

捨ててしまおうであろう段ボールやトレットペーパーの芯を使い、魚を中心とした海の生き物たちを平面的あるいは立体的に表現しています。今回は、ボランティアの方々の協力で子供が乗り込んで遊べる大きな船も製作中です。形を切ったり貼ったり、色を塗ったりと作業工程が多く利用者も職員も大忙しですが、準備は着々と進んでいます。



(陶山 智憲)

普段、生活介護の作業は個性が高く、同じ目標達成のためになんか一緒に活動するといった機会には多くはありません。

しかし、この共同制作においては利用者が協力し合いながら活動している姿が多々見られます。普段以上に利用者同士が笑顔で交流しており、その場がとても楽しい雰囲気になります。

2018年の作品展は世田谷美術館で3月13日(火)から18日(日)までの間開催されます。共同制作だけでなく、利用者一人一人の個性が表現された作品も展示します。出展作品は絵画が中心となりますが、その他にも陶芸品等様々なものを展覧する予定です。

是非、会場まで足を運んで下さい。素敵な作品たちが皆様をお待ちしています。

それぞれの展示会に作品を出品するという事は、利用者の方はそれが目標につながり、作品制作のモチベーションとすることが出来ます。実際に作品展を見学することで自信も芽生え、次の作品づくりに意欲を持っていただけると思います。また、作品展を見ていただいた方にも何らかの影響を与え、それをきっかけに日の出舎との交流が始まることもあります。

昨年3月、青梅市図書館・多目的室で開催した「大・日の出舎展2017」では、たくさんのお客様さまに足を運んでいただき、多くの反響を得る事ができました。ご来場いただいた方から匿名で嬉しいお手紙をいただきましたので、その一文を御紹介します。

「(中略) 岡本太郎のようなのびのびとした発想の作品の中に優しさも感じれば、喜怒哀楽も感じられる作品に指のあとがのこっているところを見ると、人の心の人間らしい温かいぬくもりを感じました。作品を一つ一つ作っている利用者様の姿を思い浮かべ拝見しました。

作品を見ていたら、出るころには私の心の厄がおち、とてもすがすがしい気持ちで会場を出ました。何か作品を見ているうちに、何か

泉の家

泉の家の生活介護では、世田谷美術館で1月23日、28日に開催された「世田谷区障害者施設アート展」に作品を出展致しました。例年参加してはいますが、今回は毎月お越しいただいているボランティアの方にもご協力いただいていた作品作りとなりました。作品は2つの「お花畑」を制作しました。綺麗な色のお花や葉を切り、台紙に貼り付けをしています。皆で協力しながら行いました。



真剣な表情で作品を作っています

気づかせてくれたような学ばせていただいたような気持ちでした。楽しい時間、ありがとうございました。元気がもらえました。人の心に届くような素晴らしい手作りの作品でした。

「これからは陰ながら応援しています。青梅市在住 障害者の子を持つ母より。」 自己を表現することは、自身が生きていることの証でもあると思います。それは時に人に感動を与え、動かすことができます。これからは積極的に作品を発表し、できるだけたくさんの方に見ていただく機会を増やしていきたいと思えます。

今回の作品展「大・日の出舎展2018(海)」と題して、3月23日(金)〜3月26日(月)、あきる野ルピア4階展示室にて行います。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。(森 敏彦)



毎月1回の創作活動で、少しずつ出来上がっていく作品をみて、皆で完成を楽しみにしていました。制作期間は10月から12月と3ヶ月に渡りました。利用者、職員、そしてボランティアの方々にも沢山ご協力いただき、2つの大きな作品が完成しました。



完成した作品と一緒に1枚

物作りを通して、協力する楽しさや、達成感を全員で感じることができました。利用者も皆、完成した作品に大満足の様子でした。現在、作品は泉の家館内に飾っています。泉の家にお越しの際は、ぜひご覧ください。(徳富 聡士)



(徳富 聡士)

日の出舎だより

日の出舎のクリスマス会

平成29年12月16日に日の出舎で毎年恒例のクリスマス会を行いました。今年も様々な方のご助力があり、楽しいクリスマス会を開催することができました。

去年までは、スペースが確保できなかったのですが、三階と参加者が分かれて食事をする形を取っていましたが、今年は一階で全員揃って食事をするので、より一層、一体感のあるクリスマス会になったと感じます。催し物は、毎年来て頂いている松千さんにライブをしていただきました。ライブではクリスマスソングを演奏して頂き、来賓の方も利用者様一同も、一緒に歌ったり踊ったり、とても楽しそうな姿も見ることができました。



職員バンド



コーラスクラブ

とができました。

また日頃より練習を頑張っているコーラスクラブの合唱もとても上手で、「どじょっこふなっこ」や、「岬めぐり」、「埴生の宿」を聴いている方々も一緒に歌っているのが、すごく印象的でした。職員もバンドを組み演奏をしました。練習の時間がなかなか取れなかったのですが、中島みゆきの「糸」をとてもし上手に演奏して、驚きました。来年もまた楽しいクリスマス会を開けるように日の出舎職員一同頑張りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(小林 郁也)

就労日の出舎だより

地道な作業の積み重ね

就労日の出舎は年度後半から繁忙期を迎えています。木工部門では、様々なイベントグッズ、保育園の記念品などを受注し、一つ一つの製品を丁寧に仕上げています。

受託部門では、地域の企業のご理解・ご協力のもと、人形飾りの組立や、DMの封入封緘、ドアの工事に使用する部品の袋詰めや、取扱説明書を折る作業などを請け負っています。担当している工程に、一人一人が責任感を持って取り組みられており、作業場には「できました」「終わりました！」の元気な声が響いています。



一つ一つ手磨きで仕上げています

(野本 由佳)

GHのぞみだより

グループホームのぞみの年末年始



のぞみでもクリスマス会を開催。この日は特別！で、ケントッキーやケーキが机に並びました。

お正月は全員で選んだおせちやお雑煮を食べ、過ごしました。日中は今のぞみ全員で熱中しているオセロ大会を連日開催!!3日は全員で青梅の御岳神社に初詣に行きました。それぞれの願いを叶えたのか!!



今年も楽しく、のぞみらしい生活が送れるようにしていきたいと思っております。
(麦島 汐音)

泉の家だより

新年会

1月17日に恒例の新年会を開催致しました。日頃お世話になっている来賓・ボランティアの方々、泉会他事業所をお招きし、利用者、職員を含めて約90名の参加となりました。

午前は、来賓とボランティアの方々の楽しい挨拶に始まり、その後、泉の家に關するクイズで各グループに分かれて優勝を競いました。優勝したグループから順番にお年玉の景品をプレゼントし、皆様喜ばれていました。

昼食は「寿司バイキング」を楽しみました。皆様、楽しそうに食事をされ、寿司職人の方の威勢の良い掛け声がとても気持ち良かったです。

午後は、職員によるダンスで意外な一面に驚かれた方も多かったです。作成した「ビデオメッセージ」も、とても温かいねと好評でした。



新年会の最後は、「泉の家のテーマソングを作ろう」ということから始まった「いずみのうた」で締めくくりました。昨年の新年会では、生活介護の利用者から歌詞を募り、1番だけ完成し合唱しましたが、今年2番は就労継続支援B型利用者、3番は職員で言葉を募り、ピアノボランティアの野澤順子さんに作曲して頂き、曲が完成致しました。野澤さんのピアノに合わせて、全員で「いずみのうた」を合唱する場面は、本当に新年会の最後に相応しく、皆様素晴らしい表情をされていました。

(谷垣 幸延)



ボランティアの方と楽しいお食事

玉堤分場だより

ごちゃごちゃ均でない玉堤分場

玉堤分場について一言でいうと何ですか?と利用者のみならず、に尋ねたところ、「明るい、おもしろい、楽しい、ごちゃごちゃ均でない、やさしい、経験できないことを教えてくれる、地下で寒い、パン食べてマヨネーズ!」と、いろんな言葉が飛び出してきました。

事業計画に基づいて、クッキー作業、紙作業、就労活動をベイスに、販売会、行事など様々なことが訪れます。各々が役割を担って、それぞれの場所で活動しています。

クッキーの型を抜く人、並べる人、こねる人、牛乳パックを切る人、剥がす人、その傍らで就労に備える人、面接練習で緊張してる人、実習に行く人を励ます人。チェンバロコンサートや施設公開行事などでは、利用者会議で何を担当するか話し合い、みんなで準備します。グループ



コンサートを終えて..

(半澤 恵理)

いずみ友の会の
会員の皆様へ

皆様の声をお寄せください

泉会の64年の歩みの中で、長きにわたって支援を続けていただいている日本全国のいずみ友の会の会員の皆様に深く感謝申し上げます。私たちは、いずみ新聞で会員の皆様をご紹介するコーナーの作成を検討しています。泉会にご縁があり、遠くからずっと応援して下さる方たちとお会いすることが少ないので、どんな土地の、どんな方が、どんな気持ちで泉会を応援下さっているのかをいずみ新聞でご紹介させていただきたいです。もしご自分と泉会との関わりの簡単なお話や、ご自身のお考え、泉会の活動に対する感想のひとつなどございましたら、ぜひともお伝えください。

1 「皆様の声」の 応募方法

①電子メール、②郵便はがき、③A4用紙もしくは原稿用紙のいずれかに、400字以内でお書きください。
※注意 ①電子メールの表題は、必ず「いずみ友の会会員の声」としてください。これ以外の表題は、ウイルス対策のため未開封や削除の対象となってしまうおそれがあります。②・③手書きの場合は楷書でお願いいたします。

2 掲載選定方法

前項の字数以内で、具体的で固有の内容が認められるものを選びます。
※但し掲載されないものも、法人の歴史的資料として可能な限り保存し、年史編纂などの際に参照させていただきます。掲載する期間は未定で、寄稿の数によりますが、お寄せいただいたそれぞれの原稿を複数号にわたって掲載することも検討します。

3 掲載条件

匿名希望の場合は、お住いの都道府県名に限定させていただきます。また不明確もしくは不正確・不適切な書字、表現等は、編集上、担当の方で判断、校正させていただくことがありますので、この旨ご了承ください。

4 宛 先

法人本部
〒157-0076 東京都世田谷区岡本2-33-23 社会福祉法人泉会

2018年3月～2018年6月各事業所の予定表

行 事	販 売 会
3月 3日(土) 地域とともに (玉堤分場)	3月 4日(日) 梅まつり(岡本ホーム)
3月 9日(金) 玉川支援ねっと利用者交流会 (玉堤分場)	4月 7日(土) 総福さくらまつり(岡本ホーム・玉堤分場) ヤ・エまつり(玉堤分場)
3月13日(火)～18日(日) 岡本ホーム作品展 (世田谷美術館)	4月14日(土) 日赤のつどい(岡本ホーム・玉堤分場) パラ・オハナ・フラフェスティバル (岡本ホーム)
3月23日(金) 成城音楽祭(泉の家、岡本ホーム、玉堤分場)	4月29日(日) 花みずきフェスティバル(泉の家)
3月23日(金)～26日(月) 日の出舎作品展 (あきる野ルピア)	5月 3日(木) 親と子のつどい(岡本ホーム)
3月28日(水) お花見(泉の家)	5月12日(土) 環境フェスティバル(泉の家)
4月 2日(月) 入所式(泉の家)	5月20日(日) 緑化まつり(泉の家)
5月18日(金) 日帰り旅行(岡本ホーム)	
5月24日(木)～25日(金) 一泊旅行(泉の家)	
5月25日(金) 日帰り旅行(玉堤分場)	
6月21日(木)～22日(金) 一泊旅行(岡本ホーム)	
5月または6月 一泊旅行(就労日の出舎)	

予定は変更する可能性があります。行事・販売会については各事業所にお問合せください。

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ㊚03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ㊚03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp
日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ㊚042(597)2205 info@hinosodesha.org	相談支援センター おかもと	soudan-okamoto@izumikai.jp
グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ㊚042(533)3609	玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ㊚03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp

編集後記

寒くても元気に来られる利用者の皆様の笑顔が何よりの励みになります。
新年度、初心を忘れずにいきたいです。 就労日の出舎 野本